

大阪のまちづくりグランドデザイン

OSAKA
URBAN DEVELOPMENT
GRAND DESIGN

グランドデザインとは

- ポストコロナを見据え、大阪・関西万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくため、大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示します。
- このグランドデザインを羅針盤として、民間の活力を最大限引き出しながら、多様な主体が一体となって大阪全体のまちづくりを推進し、便利で住みやすく、そして成長する大阪をめざします。

大阪都市圏からみた特徴・役割

- 西日本国土軸及び太平洋新国土軸上に位置し、西日本経済の中心、世界のゲートウェイの役割とともに、今後、世界最大級のスーパー・メガリージョンの西の核としての機能を担います。
- 交通ネットワークを中心に都市機能が集積した市街地が連坦し、コンパクトな府域を形成しています。
- 近隣府県の主要な都市と一体となって、広域的な経済交流圏を形成しています。
- 都市に近接した豊かな自然や歴史・文化資源等の多様な地域資源が集積し、アクセスも良好です。
- 人口動向や社会情勢の変化、技術革新の見込み等に的確に対応しつつ、万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、さらに成長・発展していくためのまちづくりを進める必要があります。

めざすべき都市像

1 まちづくりの目標

未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり

- ① 魅力的な国際都市として成長する大阪 ➡ イノベティブな大阪
- ② 健康長寿で誰もが幸せを実感しながら暮らせる大阪 ➡ ウェルビーイングな大阪
- ③ 未来へつながる安全・安心な大阪 ➡ サステイナブルな大阪

まちづくり推進の視点 多様性の確保 共創 資源の活用

2 めざすべき都市構造

広域レベル

広域的な都市構造を活かした都市圏の形成

- 国土軸や環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラなど、広域的な都市構造を活かし、スーパー・メガリージョンの西の核、世界のゲートウェイに相応しい都市圏を形成します。



府域レベル

マルチハブ&ネットワーク型都市構造の形成

- 都心部やベイエリアにおける国際競争力を備えた拠点エリアの形成とともに、放射・環状の都市軸上に多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏を形成し、相互に連携する都市構造をめざします。

